

2. 第 72 回飼料懇談会

日時：2012 年 3 月 27 日 於： 名古屋大学東山キャンパス

主催：畜産草地研究所

「エコフィードと時給飼料の利用拡大に向けて」

- 1) 日本飼養標準・家禽(2011 年版)ー改訂のポイントについてー (九沖農研；山崎 信)
ブロイラー増体抑制技術マニュアルより、5 週齢から CP18%以下の低タンパク・低エネルギーの抑制飼料に DL メチオニン添加すると食欲抑制が起こり、体重抑制目標を 1kg 程度下回る成績が得られた。／ トウモロコシの代替飼料としての飼料用玄米、丸粒粳米は鶏も消化は可能で、配合限界が検討中。／ ブロイラー飼料にバリン添加すると胸肉中のグルタミン酸が増す。
- 2) エコフィードの利用と畜産の展望 (名古屋大；淡路和則)
養豚におけるエコフィード利用農家は 15.4%、飼料米利用農家は 2.6%。養豚配合飼料単価は¥38.7/kg で食品残渣を併用すると¥35.7/kg に下がる。／ 養豚向け食品残渣飼料の価格が配合飼料の 50%ならば 50%の農家が利用する。／ 肥育豚でのエコフィード利用は肥育日数が 6 日長く、上物率は 3 ポイント 低下。／ 食品残渣乾燥飼料は¥25/kg, 豆腐粕等乳酸発酵飼料は¥18/kg, リキッド飼料は¥6/kg, (配合飼料 ¥54/kg)
- 3) 粳米ソフトグレインの養豚での利用について (畜草研；大森英之)
粳米ソフトグレイン(SG)は水分 15%, サイレージ化により保存性 6 ヶ月程度／養豚での粳米 SG 利用はリキッドフィーディング／粳米 SG のトウモロコシとの代替は乾物中 50%以下。